

9.集中講義「スポーツビジネス論」

昨今注目を集めているスポーツビジネス・スポーツツーリズムについてスポーツ組織・スポンサー企業の観点から考える。重点としては、スポーツの特性やスポーツ消費者の特徴の把握、スポンサーシップの効果を理解することに努める。また、スポーツ産業で働くプロフェッショナルを招き、現場を理解することにも取り組む。8月に集中講義として開講する。

	講義内容	外部講師
第1回	講義紹介（内容及び留意事項等の説明）	
第2回	スポーツ産業について	
第3回	ストリートワークアウトについて（課題提示）	ストリートワークアウト ジャパン
第4回	スポーツの特性について	
第5回	スポーツツーリスト・観戦者の動機	
第6回	スポーツツーリスト・観戦者のファン	
第7回	琉球ゴールデンキングスの企画について	沖縄バスケットボール 琉球ゴールデンキングス
第8回	スポーツ・スポンサーシップ	
第9回	スポーツ・スポンサーシップ選定	
第10回	スポーツ・スポンサーシップ効果測定	
第11回	琉球ゴールデンキングスとスポンサー	沖縄バスケットボール 琉球ゴールデンキングス
第12回	スポーツツーリズム	
第13回	沖縄スポーツツーリズム	
第14回	グループワーク	
第15回	グループ発表（課題解決策提案）	ストリートワークアウト ジャパン

集中講義「スポーツビジネス論」 担当：辻 洋右

夏季集中講義スポーツビジネス論は、以前本学の教員で、現在立教大学でスポーツビジネスの教鞭をとられている辻洋右先生をお招きし、4日間の講義を行いました。

1日目は、スポーツ産業について、スポーツの特性について、ビジネスとしてのスポーツについて、メディアとの共生、スポーツ経営学、スポーツのマーケティングについて取り上げました。また、一般社団法人ストリートワークアウトジャパン 代表 仲宗根雄三氏より、ストリートワークアウトについて、イベントの集客について講話がありました。最終日のグループワークの課題についても、提示がありました。

2日目は、スポーツ製品、スポーツ顧客、スポーツファンについて解説があり、外部講師として、沖縄バスケットボール株式会社（琉球ゴールデンキングス） 企画部 仲間陸人氏より、琉球ゴールデンキングスの企画についてお話をいただきました。

3日目は、スポンサーシップをメインに取り上げ、企業がスポーツのスポンサーになることが、企業とスポーツ団体にとってどのようなメリットがあるのか、広告との違いは何か、リスクは何か、スポンサーシップ効果の測定方法、さらにアンブッシュマーケティングについて組織、公式スポンサーそれぞれの視点から対応策、防止策を学びました。また、外部講師として、沖縄バスケットボール株式会社（琉球ゴールデンキングス） 営業部 安里亮氏から、琉球ゴールデンキングスのスポンサー対応やスポンサー獲得方法などについて、事例を交えてお話をいただきました。

4日目は、スポーツツーリズムについて取り上げ、コンテンツ、特性、成立条件、市場、枠組みなどの説明がありました。また、グループワークの時間を取り、初日に与えられたグループワークの課題にも取り組み、ストリートワークアウトジャパンの仲宗根代表に向け、各チームの発表を行いました。



文責：観光産業科学部 宜志富知恵子